

東近江市総合計画審議会 会議録

第 10 回 東近江市総合計画審議会・要約																			
日 時	平成 24 年 3 月 21 日（木） 16：00～17：15																		
場 所	東近江市役所 3 階 第 3 委員会室 及び 応接室																		
出席者	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 15%;">審議会</td> <td>稲川会長</td> <td>今堀副会長</td> <td>堤 委員</td> <td>小倉委員</td> <td>井上委員</td> </tr> <tr> <td></td> <td>武藤委員</td> <td>大林委員</td> <td>小梶委員</td> <td>太田委員</td> <td>野々村委員</td> </tr> <tr> <td></td> <td>川村委員</td> <td>北川(陽)委員</td> <td>山村委員</td> <td>森田委員</td> <td>北川(憲)委員</td> </tr> </table>	審議会	稲川会長	今堀副会長	堤 委員	小倉委員	井上委員		武藤委員	大林委員	小梶委員	太田委員	野々村委員		川村委員	北川(陽)委員	山村委員	森田委員	北川(憲)委員
	審議会	稲川会長	今堀副会長	堤 委員	小倉委員	井上委員													
	武藤委員	大林委員	小梶委員	太田委員	野々村委員														
	川村委員	北川(陽)委員	山村委員	森田委員	北川(憲)委員														
市職員	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>籾野企画部長</td> <td>村井企画部次長</td> <td>南川企画部次長</td> </tr> <tr> <td>企画課 吉澤</td> <td>本持</td> <td>古川</td> </tr> </table>	籾野企画部長	村井企画部次長	南川企画部次長	企画課 吉澤	本持	古川												
籾野企画部長	村井企画部次長	南川企画部次長																	
企画課 吉澤	本持	古川																	
欠 席 委 員	なし																		

会 議 録 の 確 定	
署名委員	審議会会長

開催

1 開会

[会長]

本日は、第 10 回東近江市総合計画審議会にご出席をいただきありがとうございます。これまで 9 回の審議会及び 2 回の総合計画シンポジウム（東近江百物語）を通じて議論を重ねてきたことをうれしく思います。この後、パブリックコメントや財政推計の変更等の説明を受けて、後期基本計画案の審議会での決定を踏まえ、市長に答申するという段取りになっています。

また、市議会議員から、後期基本計画案に対していくつかの意見がありました。その対応を含めて事務局から説明してください。

2 後期基本計画案に対する意見の概要と考え方について

[事務局]

○意見募集の実施状況

- ・パブリックコメントについて、平成 24 年 1 月 23 日～2 月 21 日まで市ホームページ及び各支所（資料の縦覧）で行った。 → 意見なし
- ・市議会議員からの意見募集（平成 24 年 2 月 10 日～21 日の間）
3 件の意見あり（資料 1 参照）
 - ① 青少年の健全育成（83 頁）関連
 - ② 多様な学習機会の提供（85 頁）関連
 - ③ 指標・がん検診受診率（60 頁）関連

○財政推計について

- ・平成 24 年度予算案が議会に提案されたことを受けて、一部数値の変更を行った。

【会長】

財政は、本計画を実行するための財政シミュレーションということですね。

【事務局】

そのとおりです。ただし、歳入については、どうしても見通しがきかないところもあるので、その部分を含めて毎年見直しを行います。

【会長】

ただいまの説明についてご意見がありましたら、どうぞ。

【委員】

市議会議員の意見に対して回答しましたか。また、了解を得ましたか。

【事務局】

昨年12月から今年1月にかけて計画案について議会全員協議会で説明しました。あわせてパブリックコメントの実施についても説明しました。計画案に対する意見は、書面でいただいています。専門部会で意見に対する考え方を調整し、意見をいただいた議員に対して、考え方を個別に説明させていただいています。

【委員】

議員の意見のうち、青少年の健全育成については何かイメージを持って質問されているのですか。

【事務局】

青年団活動をもう一度掘り起こすというのは難しい部分ですが、今年度に「おしゃべりカフェ」ということで市長と青年団が話し合いをされました。そのような活動を含めて、今後は若い人の意見を反映させる場づくりをしてはどの意見があったというところです。

【会長】

ほかに、いかがでしょうか。(意見なし)

意見がないようでしたら本計画はこのような形でまとめていただきたいと思います。

【事務局】

ありがとうございます。

(この後の、答申を行うことについての説明ののち、応接室に移動)

3 総合計画【後期】(案) 答申

1) これまでの経緯の説明(事務局)

ただいまより、総合計画【後期】の答申をおこなっていただきたいと思います。

本計画の策定にあたりましては、一昨年(2019年)の11月から稲川会長をはじめ、ここにおられる15名の審議委員のみなさんに熱心にご議論をいただき、本当にありがとうございました。

また、この間、審議会で審議以外に2回のシンポジウムを開催して頂き、また、職員で行っている専門部会(策定に向けての内部の会議)にもご出席いただきまして、一から議論をいただいたところでございます。本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。

このたび、総合計画【後期】(案)が整いましたので、稲川会長より市長に答申をお願いいたします。

では、答申にあたりまして、稲川会長から一言お願いいたします。

2) 稲川会長あいさつ

本日はこれまで、一昨年11月から1年4ヶ月にわたって検討しました総合計画【後期】(案)がまとまりまして、これから市長に答申ということになりました。

思い起こしますと、私自身はつたない会長でしたので、みなさんにご迷惑をお掛けしたと思うのですが、委員一人ひとりや事務局、それからコンサルのみなさんも含めて、本当に頑張ってもらったおかげだと思います。

日本全体もそうですが、これまでみたいに、社会経済が、どんどん「成長」していくものわけではありません。でも、それは、衰退ということでもありません。東近江のいいもの(資源)を活かして新しい形の「成熟」した豊かなものになる計画との思いで作ってきました。

また、策定期間中には東日本大震災が起きまして、これをきっかけとして今後の社会のあり方も変わってくることを考え、それを少しでも先取りできればと思ってやってきたつもりです。さらに、いろいろな方々が共生していける社会をつくっていこうと、外国人の方、あるいは発達障害の方、若年性認知症の方など、いろいろなつらい立場に置かれている方々が、その人ならではの生き方で、生きていける社会をつくっていくという思いで、議論をしてきました。

それらを実行していくためには、単に行政だけの計画ということではなくて、市民と一緒にやっていこうということが大切で、行政がうまくやっているかと市民が監視することではなく、むしろみんなと一緒に取り組んでいける形をめざしたつもりです。そういうことで、市(職員)の事務的な検討の中にも、我々審議会のメンバーも入って一緒に検討してきました。

ただ、厳しい言い方をしますとこの計画は今のところ、絵に描いた餅です。これから5年間、そしてその先を見据えて、いかに絵に描いた餅にしないかというところが問われてくると思います。これからの5年間が重要です。我々もこれで良かったということではなく、皆さんと一緒に取り組みを進めることができればと思います。そういう意味では行政と市民が車の両輪として進めてもらいたいです。

車の両輪といえば、私の車が、今日、ここにくる途中で、パンクしました。そういう意味では厄払いとなったと思います。

東近江市という車の両輪がパンクしないようにと願っています。

また私事ですが、この度、この地を離れることになりましたが、引き続き何らかの形で一緒にできればと思っています。

最後に審議員のみなさん、事務局のみなさんにお礼を申し上げまして、簡単ではございますが、あいさつといたします。ありがとうございました。

3) 答申 (答申を市長に提出)

4) 市長 (お礼の言葉)

みなさん、1年半の間、ご議論をしていただき本当にありがとうございました。

若い会長を盛り立てていただいて、ある意味、そのような形が大切ではないかと思います。先輩が後輩に対して支援するから、こうやって行けという形でしていただいているという部分が大切で、そういう意味では長老ばかりが集まるのではなく、年齢層が広い中で議論をし

ていただいて、本当にありがたいと思っています。

当初、稲川会長から市長としてこの計画の中で一番重要視している点は何かと聞かれました。その時、私は迷わず、安心の三重奏が重点に置きたい、それが基礎自治体の仕事だと思いますと伝えました。なお、福祉、教育などは基本的には自治体の役割ですが、人々が生活する上、あるいは経済活動をする上で、その中で福祉や教育を下支えするための産業だとか、その他の市民活動へのバックアップ、支援をどのようにしていくかということも非常に重要だと考えています。そういう意味で総合計画というのは、よくいえばすべてのところに光をあてるということですが、そうすることで逆に光が当たらない、あるいは薄くしかあたらないとなるかも知れないので、特に安心の部分に光をあてていただきたいとお願いしました。この総合計画の「思い」というものをしっかりと受け止めた中で、各計画を実行していきたいと思っています。

ぜひ、その段階におきましてもみなさんのご支援、ご参加をいただくことで東近江市を盛り立てていただきたいと思います。

私も任期は後一年ですが、がんばって取り組みたいと思います。

ありがとうございました。

4 閉会